

新春 市長若者対談2018 ～将来の自分、未来のまち～



華々しい新年のスタートにあたり、木村市長と若者による対談が市役所にて行われ、岩井高校・坂東総合高校の高校生、市内在住の大学生及び専門学生が、将来の自分と未来の坂東市について語り合いました。

「将来の自分はどうなっていると思うか？」「今年の抱負を漢字一文字で表すと？」の質問に、それぞれフリップに書いた自分の思いや抱負について語り合うなど、活発に意見が飛び交い真剣さがうかがえる対談となりました。

最後に木村市長から、抱負に選んだ漢字『繋』への思い～みんなで繋いでいく・繋がっていく～が語られ、今回の対談も“市長とこれからの坂東市の将来を担う若者たちとの繋がり”ができた対談となりました。

寄贈ありがとうございます



12月21日、株式会社エスエスと筑波銀行から「将来、地域の子どもたちが当社に来てもらえるきっかけになれば」と子ども遊具のキルディブロックとターゲットゲームを寄贈いただきました。

多くの子どもたちが遊べるよう児童センターに設置し、有効に活用させていただきます。

1月10日、有限会社中島興業運輸と筑波銀行から「子育て支援を通じ地域社会に貢献したい」と大型絵本5冊と折り畳みマット2枚を寄贈いただきました。

絵本の読み聞かせを通じた学習など、子どもたちの情操教育のため大切に活用させていただきます。

